

<発行元>

医療法人社団 慶実会グレースデンタルクリニック本院
〒153-0053
東京都目黒区五本木3-25-17
TEL: 03-6452-3111
FAX: 03-6452-3112



気圧や気温の急変で歯痛が起こるお話



天気の悪い雨の日等に、体のどこかが痛くなったことはありませんか？

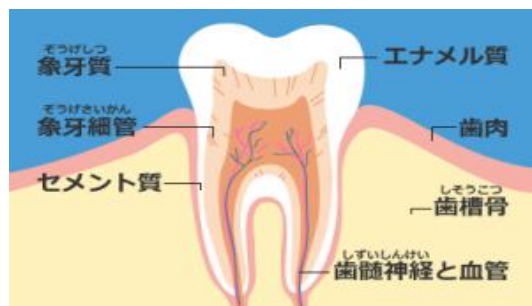
歯の痛みもお天気と関係があるようです。

歯の中には神経や血管が入っている「歯髄腔」という空洞があり、普段は外の気圧と等しい状態ですが、天気が急激に悪くなり気圧の変化が起こると、空洞の内側から外側への圧力が大きくかかり、痛みの原因になることがあるのです。

このことを「**気圧性歯痛**」といいます。

気圧の低い所に行くと、お菓子の袋が膨張するのと同じ現象です。

また気圧の変化により、体内のバランスが崩れ、免疫力が低下することで、歯周病が急性化したり未処置の虫歯や治療後の歯の神経が刺激されて痛みが出る場合があります。



なぜ、治療が終わったのに歯が痛いのか？

でも、しばらくして歯の痛みが治まると、安心して忘れてしまいがちです。

< 対処法は？ >

- 日頃から適切な歯磨きをして、口腔内の清潔を維持する。
- 早期発見にも繋がるので、軽く考えずに早めに歯科医院で診てもらおう。

気圧の変化によって生じた歯や歯肉の痛みや違和感は、不具合を教えるサインかもしれません。

